



写真 新潟医療福祉大学A戦で適時打を打った大高(2年)

関甲新学生野球
オータムカップ

山梨学院大学B戦
1-2

新潟医療福祉大学A戦
3-1

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
常磐大B	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
山梨学院大B	0	1	0	0	0	1	0	0	X	2

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
常磐大B	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
新潟医療福祉大学A	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

関甲新学生野球・オータムカップの常磐大学Bの3戦目、山梨学院大学B戦は1-2で敗北、4戦目の新潟医療福祉大学A戦は3-1で勝利した。

【11/13 対・山梨学院大学B／山梨学院大学川田野球場】先発投手は、三浦彰浩(1年)。2回表、先頭の5番安藤出望(1年)がレフトにツーベースヒットを放つと、6番川波祐貴(1年)が、バント処理の失策で出塁、続く7番長瀬祥太(1年)が犠牲バントで1アウト2,3塁のチャンスを作り、8番高栖雅哉(2年)が2ストライクから犠牲フライを放ち、先制点を獲得する。1-0。2回裏、山梨学院大Bの8番岩崎が1アウト満塁の2ボール2ストライクからレフト前ヒットを放ち、同点に追いつかれる。その後も常磐大Bは勝ち越しを狙うもなかなか得点につなげられない。6回裏、山梨学院大Bの攻撃、9番山口が1アウト1,3塁のフルカウントからセカンドゴロを打つも裏で守っていたため、その間に3塁ランナーが生還し、勝ち越しに成功。1-2。その後、逆転を狙う常磐大Bだが、得点を許してはくれず、1-2で試合が終了した。バッテリーは三浦彰浩(1年)、野口航(1年)、飯田洋介(1年)―長瀬祥太(1年)。

【11/14 対・新潟医療福祉大学A／常磐大学野球場】先発投手は荒木嶺臣(1年)。1回裏、先制点を先取され0-1。2回表、4番所宜和(1年)が初球からライト前ヒットを打ち、出塁。続く5番川波がセンターフライに倒れ、1アウト1塁。その後、6番豊泉翼(1年)が初球からセンター前ヒットを放ち、1アウト1,2塁のチャンスを作る。続く7番大高麟太郎(2年)が2ボール1ストライクからレフト前ヒットを放ち、レフトの悪送球により、ランナーが生還し、同点に追いつく。5回表、9番大隈聖蓮(1年)がフルカウントからライト前ヒットで出塁。続く1番高栖がセンターフライに倒れるも、2番大塚偉歩己(1年)の打席で大隈が盗塁を決め、1アウト2塁。その後、大塚がライト前ヒットを放ち、勝ち越しに成功。2-1。6回表、6番豊泉がセンターオーバースリーベースヒットを放ち、1アウト3塁のチャンスを作ると7番大高がファーストゴロを打つも野手選択により、3塁ランナーが生還し、3-1。

荒木の好調なピッチングにより、失点を許さず、試合が終了した。バッテリーは荒木嶺臣(1年)―石塚大樹(1年)、荒木一(6回)長瀬祥太(1年) (文・蛭田歩)